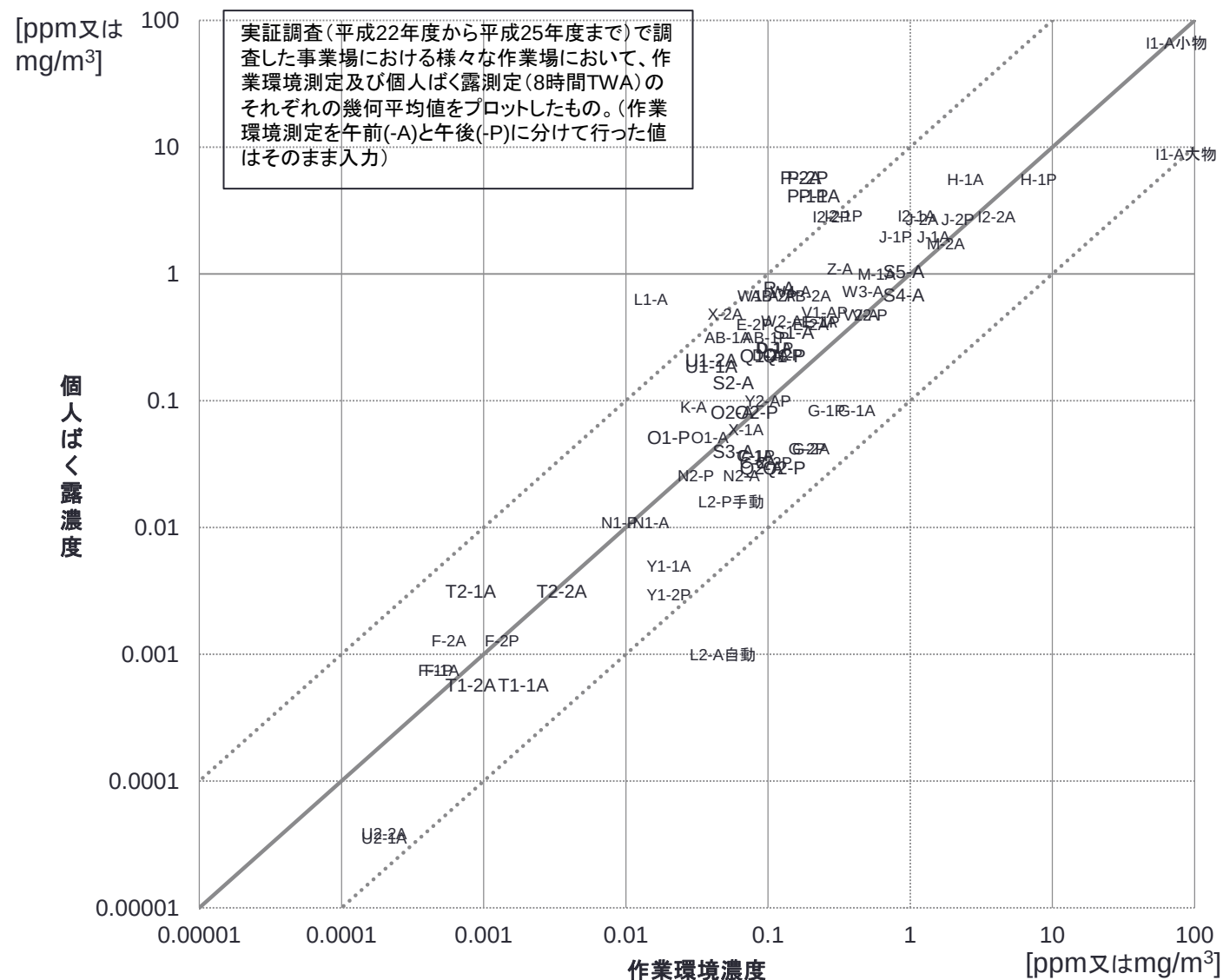


実証調査の結果(平成22～25年度)

作業環境濃度と個人ばく露濃度の関係(H22-25委託事業データより事務局にて作成)



＜全体の傾向＞

作業環境測定結果と個人ばく露測定結果はよく相関している。

個人ばく露測定の方が、高い値が出る傾向がみられる。

＜個人ばく露測定結果が低くなった作業場＞

C: グラビア印刷(混合有機溶剤)

G: 病理標本作製(ホルムアルデヒド)

I1: 離型剤塗布

L2: めっき(自動と手動)

N2: バフ研磨(ケイ酸粉じん)

Q2: オフセット印刷

T1: インジウムボンディング(研磨)

U2: コバルト化合物原料投入

Y1: マンガン化合物原料投入

※C、G、L2、Q2は作業時以外不在

＜個人ばく露測定結果が10倍以上高くなった作業場＞

I2: 仕上げ研磨(鋳物砂)

L1: 吹き付け塗装

P: アーク溶接